

Open Source Conference 2023 Fukuoka

OSSデータベースの100ヶ月

～ MySQL / PostgreSQL / 新しい注目株 ～



OSS
Consortium

協力



特定非営利活動法人

オープンソースソフトウェア協会

Open Source Software Association of Japan

Open Source Software Association of Japan

- なぜ「100ヶ月」？
- gihyo.jp(技術評論社)にて連載中の「OSSデータベース取り取り時報」が、2023年12月に第100回を迎えました。
- このセッションではこれまでの100回の連載を振り返りながら、OSSデータベースが約9年間にどう変わってきたのか、これからどう変わりそうかをOSSの動向に詳しい複数の識者が語ります。

OSSデータベース取り取り時報

第80回

セミナー「OSSをDX戦略に組み込む」開催報告、MySQL Shell for VS Codeプレビュー・リリース公開&MySQL HeatWave MLリリース、オープンソースカンファレンスからPostgreSQL情報

梶 梶山隆輔 (かじやまりゅうすけ)

2022-04-01 35

シェア

溝 溝口則行 (みぞぐちのりゆき)

この連載はOSSコンソーシアム データベース部会のメンバーがオープンソースデータベースの毎月の出来事をお伝えしています。

セミナー&座談会「OSSをDX戦略に組み込む」をオープンソースカンファレンス2022 Online Springで実施

3月11日(金)と12日(土)に開催されたオープンソースカンファレンス 2022 Online Springにおいて、OSSコンソーシアムでは独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) の協力を得て、OSSとDXをテーマとしたセミナーを行っています。

記事の内容 6.5

セミナー&座談会「OSSをDX戦略に組み込む」をオープンソースカンファレンス2022 Online Springで実施

- OSSコンソーシアム紹介
- IPAのDX推進施策 ～プラットフォームデジタル化指標でIT課題を見える化する～
- 基幹系システムにオープンソースを適用するには
- DXとデータベース
- 分散コンピューティング部会と

OSS DB
取り取り時報)))

OSS 取り取り

検索





梶山 隆輔

Oracle Corporation
MySQL GBU

OSSコンソーシアム
データベース部会



溝口 則行

TIS株式会社

OSSコンソーシアム
データベース部会



大釜 秀作

住友電気工業株式会社

オープンソースソフト
ウェア協会 事務局長



竹岡 尚三

株式会社アックス

OSSコンソーシアム
AI IoT Robotics
Automotive部会



滝澤 正大

株式会社デジタル・
ヒュージ・テクノロジー

OSSコンソーシアム
Open EDA部会



OSS Consortium

と

テータース部会



をちょっとだけ紹介!

OSSコンソーシアムはこんな団体です



●【目的】

- 会員企業（ユーザ）のOSS採用促進
- 会員企業（ベンダー）のOSSビジネスの推進
- OSS市場の活性化貢献

●【基本ポリシー】

- ビジネスとしてのOSSをメインテーマとして、OSS市場活性化に向けた問題点の解決や利点の発展を活動主眼とする。
- 前項実現のためには、会員間での協力による効率的なアウトプットを行うことを心がける。
- ユーザが参画できるようなコンソーシアム環境の整備及び活動の実現を目指す

わかりやすく話すと…



- **OSSの価値観を大事にしている企業メンバが集まったビジネスコンソーシアムです。**
 - 仕事に役立てられる活動をしたいと思っているメンバが中心ですが、会員各位の参加の動機はとても様々だと思えます。
- **テーマを共有できるメンバと一緒に部会活動をするのが、最大の売り物です。**
 - 会員同士の取引関係はあったりなかったりいろいろですが、そこは重要ではありません。
- **他社と集まれることにメリットと喜びを感じているメンバが多いので、懇親会は公式・非公式によくあります。**

参加するとできること

● 部会活動

- 参加部会数や参加人数に制限はありません。
- 部会やイベントによってはゲスト参加も可能です。

● 他社との交流の場

- 部会, 委員会, 懇親会, イベント出展, などなど

● Webサイトやメルマガを使った自社活動の告知やアピール

- OSSに関連している必要があります。

● 部会活動や出展イベントの場で会員企業の製品・サービスをテーマにすることも可

- 正会員として部会活動の主要メンバになっていただく必要があります。



- AI IoT Robotics Automotive部会
- Open EDA部会
- オープンCOBOLソリューション部会
- 開発基盤部会
- データベース部会
- 東海支部
- ビジネスアプリケーション部会
- 分散コンピューティング部会



データベース領域でのオープンソースの更なる発展促進を図る

- 特定の製品にとらわれず、第三者的な立場で様々なデータベースの情報を収集し、それらをユーザ・ベンダにフィードバックする機会を提供します。また、データベースの垣根を越えたイベントなどを開催します。



つまり、「いろんなOSSのDBと一緒に勉強しましょう」…という集まり

- 部会リーダー



(株)デジタル・ヒューズ・テクノロジー
代表取締役 鵜川 徹

TIS株式会社 IT基盤技術事業本部
主査 溝口 則行



ここから中身: MySQL, PostgreSQLなどの 近年の振り返り



OSS

Consortium



OSS
Consortium

① MySQLの100ヶ月

年	連載回	MySQL
2015	1-4	MySQL 5.7リリース 日本MySQLユーザ会15周年
2016	5-16	第2回 MySQL・PostgreSQLユーザーグループ（MyNA・JPUG）合同DB勉強会 新機能：グループ・レプリケーション
2017	17-28	「MySQLの寿司ビール🍣🍺問題」解消へ 新機能：MySQL InnoDB Cluster
2018	29-40	MySQL 8.0リリース
2019	41-52	MySQL Cluster開発エンジニア来日セミナー
2020	53-64	日本MySQLユーザ会（MyNA）20周年 & MySQL 25周年イベント クラウドサービスMySQL Database Service -> MySQL HeatWaveリリース 新機能：MySQL InnoDB ReplicaSet
2021	65-76	MySQL 8.0 & MySQL Shellリファレンスマニュアル日本語化 新機能：MySQL InnoDB ClusterSet
2022	77-88	MySQL HeatWave on AWSリリース
2023	89-100	MySQL 8.1, 8.2リリース



OSS
Consortium

② PostgreSQLの100ヶ月

これまで連載100回、およそ9年の年表 from OSS DB取り取り時報

年・(連載回)	PostgreSQLのトピックス
2015-2016 (1-16)	PostgreSQL 9.5, 9.6リリース 初めてのPGConf.ASIAが東京で開催
2017 (17-28)	バージョン番号付与ルール変更 PostgreSQL 10リリース
2018 (29-40)	EDB Postgres Vision Tokyo 2018開催 PostgreSQL 11リリース
2019 (41-52)	OSS-DB認定者数上位企業発表 PostgreSQL 12リリース
2020 (53-64)	PGECons／活用事例セミナーなどで事例発表が相次ぐ PostgreSQL 13リリース
2021 (65-76)	PGEConsが「2021年北東アジアOSS貢献者賞」受賞 PostgreSQLが「DBMS of the Year 2020」に PostgreSQL 14リリース
2022 (77-88)	国内コミュニティ発 pg_ivm リリース PostgreSQL 15リリース
2023 (89-100)	PostgreSQLの透過型暗号化機能が各社から提供 PostgreSQL 16リリース

v10以降、バージョンの
遷はおもしろくない

全般に新機能の話題をあまり取り上げてこなかった

近年の新機能や技術トピックスはJPUGの発表資料がオススメ

Open Source Conference 2023 Online/Spring

<https://event.ospn.jp/osc2023-online-spring/session/825844>

PostgreSQL 最新動向

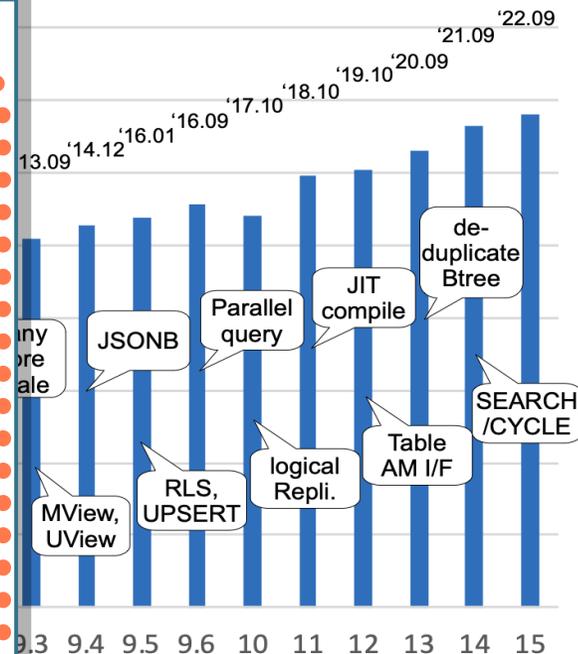
- 最新バージョン機能と開発動向について -

PostgreSQL リリース

コード行数

近年のエンハンスメント

- ロジカルレプリケーションとその強化 (10 - 15)
- Table Access Method 拡張用インタフェース (12)
- Btree インデックスの重複除去、肥大化防止 (13 - 15)
- パラレルクエリ対応と強化 (9.6 - 15)
- テーブルパーティショニング対応と強化 (10 - 15)
- 拡張統計情報 (12 - 15)
- 進捗モニタリング pg_stat_progress_* (10 - 15)



アレンス Online Spring
10 - 10:45 (D会場)
ユーザ会 理事 高塚 遥



OSS
Consortium

③ その他 (Project Tsurugi “劔”)

Project Tsurugi (劔)

- 2019年～: Project Tsurugi (劔) の状況を折々に報告
- 2023年: OSSとして正式リリース!

Project Tsurugi (劔) ユーザー会 兼 経過報告会

13:00-13:10 プロジェクト全体状況
(ノーチラス・テクノロジーズ)

《研究開発状況の紹介》

13:10-13:20 全体アーキテクチャ (NEC)

13:20-13:30 アプリケーション：天文データの分析 (国立天文台)

13:30-13:40 データ分析技術 (大阪大学)

13:40-13:50 アプリケーション：災害対応 (パソコ)

13:50-14:00 空間情報処理技術 (名古屋大学)

14:00-14:10 アプリケーション：バッチ処理 (ノーチラス・テクノロジーズ)

14:10-14:20 HTAP (Hybrid transaction/analytical processing) 技術 (東京工業大学)

14:20-14:30 トランザクション処理技術 (慶應義塾大学)

14:30-14:40 SQL処理の実装 (ノーチラス・テクノロジーズ)

14:40-14:50 不揮発性メモリの活用 (NEC)

14:50-15:00 質疑など

この成果の一部は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) の委託業務 (JPNP16007) の結果得ら

スケジュール感

- 実装自体のスケジュール感
 - 一応、個人的な非公式見解で、アカデミア関連はまた別
 - 2018-2020現在：概ね順調
 - コア部分は普通に着々と実装
 - アプリは一部プロト実装完了
 - 2020/11 NEDOの審査 (ステージゲート)
 - これが通らない場合は一旦中止
 - 2021以降
 - 実装よりからインテグレーションにはいっていく
 - 2022にα版がとりあえず出る
 - というか「形はどうであれ一旦出す」
 - ユーザサイドではPoCとかいろいろ触ってみてもらう、という感じ
 - 間違ってもいきなり本番突撃とか止めてくださいね。

ここからは とてもカジュアルに パネルディスカッション



OSS
Consortium

協力



OSSAJ
Open Source Software Association of Japan

特定非営利活動法人

オープンソースソフトウェア協会

Open Source Software Association of Japan

OSSデータベースって 変わってきた？

- この約9年でOSSデータベースがこんなに変わってきたぞ!という話をしましたが、皆さんの印象はどうですか？
- 「結構変わってきたなあ」なのか、「9年前の状況とたいして変わってていないじゃ無いか」なのか。
- (ディスリもあり)

OSSデータベースのこれから？（期待をお訊きしたい）

- これから先, OSSデータベースはどうなって欲しい？
- 既存のDBMSについてでも, 新顔への期待でも
技術的な視点でも, ビジネス的な視点でも
- 開発者としてでも, 利用側としてでもどちらでも

➔ 意見 ?

➔ 質問 ?

ご参加ありがとうございました

パネリスト・モデレーター同



OSS

Consortium